

広報

# ふじ

NO. 157

49.5.5 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



人ごとではありません 一瞬の油断が重大事故に…(四月二十九日・東名高速道路の事故現場)

## 消費者運動連絡会を結成

物価高や品不足に泣かされるのは、一家の台所をまかなっている主婦。ひとりでぼやいたり、怒ってもはじまらない——それでは大勢が力を合わせて、消費生活の危機に立ち向かっていこうと、このほど婦人会や生活学校、農協などの各種団体が集まって「富士市消費

者運動連絡会」を結成しました。発会式は4月20日、市役所10階会議室で行なわれました。式には各種団体から150人が参加し、各団体はもとより、地域ぐるみで運動を進めていこうと誓い合いました。それでは、連絡会の発会式の様子、目的などをお知らせいたします。

# 消費生活の危機に立ち向う

## 物価高に対抗して 消費者が団結

昨年の秋以来続いた物価高、物不足もようやくおちつきましたが、高値安定となってしまいました。また物価高、物不足は再び起りうる状態などともいわれています。混乱した中で、ひとりひとりの消費者が怒ったり、なげいても解決しません。弱い消費者は、大勢集まって力を合わせ消費生活の危機に対処する以外手だてはありません。

また、おたがいに啓もうしながらかしこい消費者になると同時に、消費者のためのよりよい経済になるよう、行政に対し、あるいは社会に対

し積極的にはたらきかけていかなければなりません。

市商工課の呼びかけで、3月に消費者問題懇談会が開かれました。この会には、各団体から28人が出席して、それぞれの団体の活動状況や問題点を出して話し合いを行ないましたが、この懇談会をきっかけに、消費者運動連絡会を結成することになりました。

昨年秋からはじまった物不足と諸物価の急激な値上がり、数々の食品公害は、憲法で保障する健康で文化的な最低限度の生活もおびやかすことになりました。

トイレットペーパー、洗剤、砂糖など生活必需品が店頭から姿を消した時、あかちゃんをかかえたお母さん、病人をかかえた家庭、ひとりぐらしの老人—どんなにこまったことでしょう。また製紙の町でありながら紙が手に入らないという

こともありました。この原因は何でしょう。ひとりひとりが頭をいため、かげで不満をいってもどうにもなりません。そこで、多くの人達が集まり多くの団体が協力する中で①消費者運動の推進②消費者意識の高揚③情報の交換、などを行ない広く市民運動を展開していくことになりました

## 価格などの意見交換 も積極的に

まず1番目の消費者運動の推進は各団体で活動している中で、共通する問題、新しいアイデアを取り入れて協議し、それぞれの団体で刷新していく。次に、消費者意識の高揚は、パンフレットや報道機関などで活動についての協議の様子を呼びかけるとともに、活動結果を公表していく。3番目の情報の交換は、生活必需品の価格調査をモニターで実施しているが、もっとこまかなデータが必要なので、価格調査を実施している団体は、情報を交換し、消費生活の安定、向上をはかる。

連絡会はこのように大きな目的を持って発会しましたが、会の代表に今泉春枝さん（連合婦人会）、副代表に神尾郁子さん（消費生活モニター）が選ばれました。



【4月20日消費者運動連絡会を結成】

## 連合婦人会など9団体で 連絡会を結成

富士市消費者運動連絡会の参加団体は、連合婦人会、富士市消費生活モニター、生活学校、富士生活協同組合、友の会富士グループ、農協婦人部、新日本婦人の会富士支部、栄養普及会、あすなる母の会料理研究部の9団体と富士市消費生活相談員です。また、連絡会の運営は参加団

体が会費を負担し、不足分は廃品回収などの事業を行ないまかかっていきます。

発会式で、代表に選ばれた今泉春枝さんや来賓のあいさつが行なわれました。



【一時は店頭から姿を消した洗剤もいまでは…】

## 大勢の力を合わせ 大きな市民運動に

消費者運動連絡会代表

今泉春枝

他市に先がけ消費者運動連絡会が発会したことは、たいへんうれしくそれだけに意義があり、責任も大きなものだと思います。消費生活に深い関連があるお母さんたちが集まって、問題に立ち向かっていくことはすばらしいことです。ひとりではできないことも大勢集まれば、大きな力となり、大きな市民運動となって、市の中、県の中に流れていくのではないのでしょうか。

また、発会に当たり、会の趣旨を原点に帰って考えなくてはなりません。それは、物が高くなり、物がなくなったからといって、自分達のこととはせめないで、行政や業者に反感ばかり持っていきますが、まず自分の姿勢もいっしょに考えるということです。この会は、行政あるいは業者に文句だけいう会ではないということです。女性として、母親として主婦として、消費問題にどのように取り組み、どうしたら物も心も豊かな富士市をつくっていくかということが発会の趣旨です。

## 生活体験からの意見は 行政にどんどん反映

富士市長 渡辺彦太郎

男性は消費にうといきらいがあります。私も会合などに出席して、おくさん方から出される消費問題についての意見には、考えさせられることがたくさんあります。

このように各団体が連合して、お互いの経験や、活動を通じて、消費

生活を豊かにしていくことは大変なことだと思います。たとえば、ひとつの日常生活必需品でも、その品物がどのような所でつくられ、どのような方法で私達の手もとに届くのかを知らないと、高いとか安い、品物が悪いとか良い議論はそこだけで終わってしまいます。

なお、消費問題は行政だけではとなく形式的に流れてしまうので、みなさんの生活体験の中から出た、きちょうな意見を十分取り入れて生かしていくことが必要だと思っています。資源不足の日本ですから、みなさん、お互いに消費ということをももう一度考えあってください。

## 袋の再利用などの 市民運動を展開

なお、発会式のあと、参加団体で今後の運動をどのように進めていくか意見交換を行ないました。参加者からは—

- ・袋の再利用について
- ・ゴミ収集袋の価格について
- ・古紙の再生について
- ・洗剤の害について
- ・商品の共同購入について

- ・公設卸売市場の運営参加について
- ・有害食品について

など、数多くの意見が出されました。なお、連絡会ではこれらの意見をもとに今後の運動方針をつくり、よりよい消費生活が行なわれるよう市民運動を展開していくことになりました。

# 茶かっ色の排水を きれいな水に

## パルプ排水脱色研究会を設置

市内の河川の汚れは、大部分が製紙工場から排出される汚水が原因でした。特にSS（浮遊物質）はヘドロの原因にもなり、大きな社会問題となりました。このため、水質汚濁防止法や県の上乗せ排水基準の適用などで、だいぶよくなってきました。

しかし、茶かっ色の汚水はまだ良くなっていません。河川は、工場排水を岳南排水路に流しているのに、きれいになりましたが、排水路の出口になる田子の浦港は、相変わらず茶かっ色に汚れています。

茶かっ色の汚れは、パルプの製造過程で出されますが、着色水の規制は水質汚濁防止法にもなく、脱色方法も現在研究がすすめられている段階です。これからは着色公害も規制されるようになるため、技術開発がいそがれています。

製紙工場から出される諸公害のうち、汚水の脱色が技術的に一番むずかしい問題といわれます。そのうえ研究も県や市、企業がそれぞれ独自

に行なってきました。

そこで、県・市・製紙工業試験場・企業などが、おたがいの技術を交換しながら測定方法や脱色方法の研究を進めていくため、4月9日「パルプ排水脱色研究会」を設置しました。

なお、これまでの研究で真水にすることは不可能でも、かなりきれいにするにはできました。しかし茶かっ色に汚れた水がきれいにならなければ、水の汚染がなくなったとはいえません。このためにも今回発足した「パルプ排水脱色研究会」の技術開発の成果が期待されます。

## 透視度の測定を

## 毎月1回実施

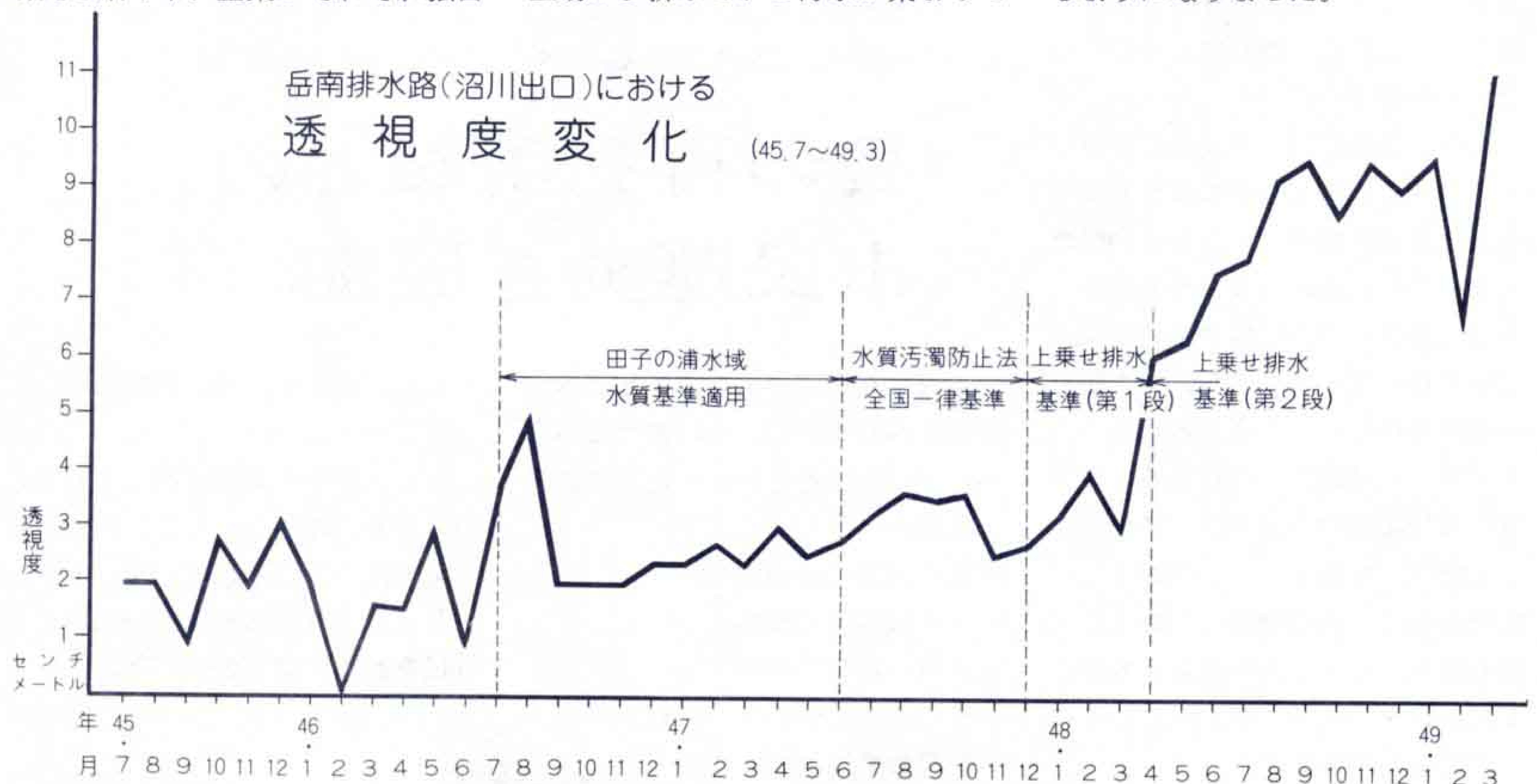
岳南排水路には、富士地区の130工場から排水される汚水が集まって



【透視度の測定を行なう係員】

きますが、下の表は岳排の沼川出口における透視度変化です。

透視度の測定は、昭和45年7月から毎月1回はじめましたが、測定をはじめたころは1~2センチ程度しか見えませんでした。しかし、昭和46年7月田子の浦港水域に水質基準の適用47年6月水質汚濁防止法の全国一律基準の適用、県条例上乗せ排水基準第1段の適用など排水基準がきびしくなるにしたがってよくなり、今年の3月の測定では10センチ程度まで見えるようになりました。



# 読書会をつくりませんか

「本を読む」簡単なようですが、いざ実行しようとする、暇がない、忙しいなどせっかく買った本も、机の上や本だなの中に……みなさんこんな経験はありませんか。読書の楽しみは人生を知ることであり、社会全般を広く深く学ぶことができます。

市内にはグループで読書会をつくり、毎月勉強している人たちが大勢います。みなさんも友だちや近所の人と読書会をつくって勉強しませんか。

市立中央図書館では、読書会のグループに助言したり、テキストを提供しています。これから読書会をつくらうというグループにも、もちろん指導を行ないます。読書会のことをくわしく知りたい方は、市立中央図書館（今泉7丁目12番36号・52-2825）へお問い合わせください。



【今泉婦人会の読書会＝市立中央図書館＝】



## 7年目を迎える

### 今泉婦人読書会

青木ひろ（今泉2丁目9番15号・69才）

私たち家庭の主婦は、毎日同じ時間を同じ仕事のくり返して忙しくすごしています。

昭和42年、今泉婦人会は「視野を広くして勉強する婦人になりましょう」の目標に立って、いろいろな学級を開設しました。その中のひとつ

が読書会で、7月から中央図書館で開講しました。以来、毎月第3木曜日の午後1時30分から2時間、図書館の職員の方から助言を頂いて進めています。

歩みは遅々たるものですが、今月で75冊を読み終わりました。ふり返

って見ると、それらの読後感の話し合いの中で、作品から受けるものは深く感銘させるものがあります。作者の人生観に、自然の偉大さに、時代の変化に、自己の存在価値を悟り得るよろこびは何ものにも替えられません。

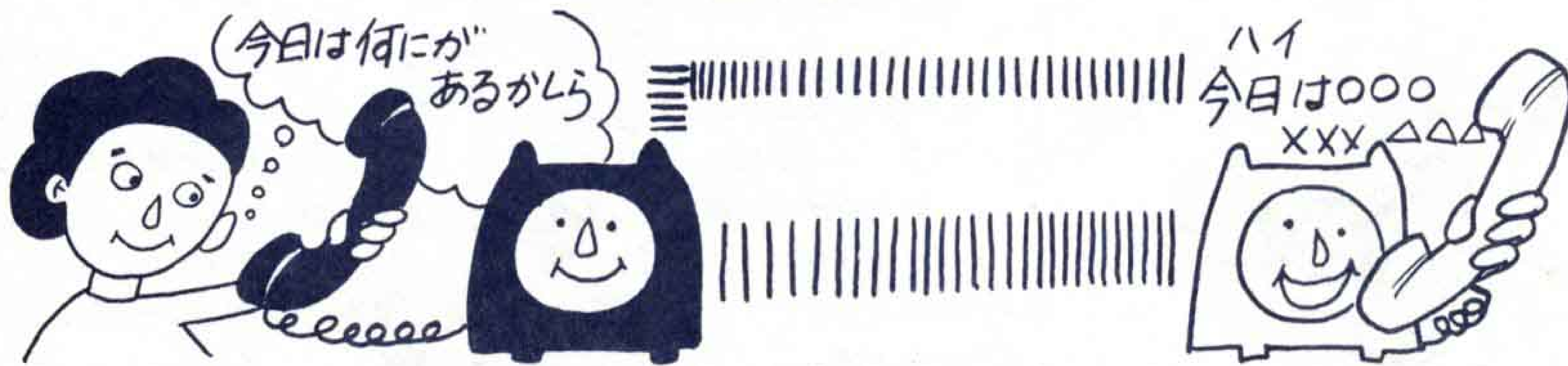
この読書会には、毎年文学散歩があります。図書館で私たちのために資料を用意し、あらかじめ予備知識を与えて、文学的価値をさぐりつつ指導してくれます。このようなことは他の読書会の羨望するものです。

## ダイヤル市政案内をご利用ください

電話番号

# 52-1111

催し物や各種の募集、予防注射、休日当直医などを電話でお知らせしています。すでに録音してあるテープで、毎日の行事案内を流しますから、いつでも知ることができますのでご利用ください。電話番号は52-1111です。



## 消費生活モニターに 50人を委嘱

昭和49年度の消費生活モニターを50の方にお願ひしました。

消費生活モニター制度は、昨年からはじめましたが、一般の消費者に変わって広く消費生活の意見などを聞き、合理的な消費生活を考え、行動する「かしこい消費者」づくりを行なうものです。

モニターの仕事は、消費生活などのアンケートの回答、消費生活全般についての意見や要望、



苦情などをモニター通信で連絡、商品の価格、計量調査などを行なっていただきます。

## 郊外にのびる住宅地

# 12月には20万都市に…

富士市が誕生した昭和41年11月の人口は16万4932人でしたが、昨年12月31日現在19万7056人となりました

この間の年間増加数は、平均約4000人で、県下でも上位の伸び率を示しています。昨年の伸び率は2.3%で、富士宮市について県下2位となっています。

地域的には市街地の伸びが46年ご

ろから横ばいになり、逆に大淵、鷹岡、須津など郊外が大幅に増加しています。このような傾向は、住宅地が郊外へどんどん広がっているためです。

地区別の人口推移を昨年と昭和43年を比較してみると、吉原地区の場合9万7448人でしたが、10万9215人と1万1767人増えています。富士地区は5万8506人から6万4787人と6281人増えました。また鷹岡地区は1万8451人から2万3054人で4603人増加しました。

なお、昭和45年に策定した「第2次富士市総合開発計画」の人口推計と、総体的な伸びは一致しましたが、地域的には多少の差が出ています。

富士市が20万都市としてうぶ声を上げるのは、過去2年間の伸び率から見ると、今年の12月ごろと思われま



## 緑と花の相談コーナー

### 毛虫が大発生して…

問

昨年サザンカとツバキにアメリカシロヒトリに似た毛虫が大発生し、枯れ木のようになってしまいました。今年も発生するのではないかと心配です。防除方法がありましたらおしえてください。

答

この毛虫はチャドクガの幼虫で、アメリカシロヒトリのように群がって葉を食べます。チャドクガは、サザンカ、ツバキ、茶の木にみられ4月から6月の年2回発生します。体長は2.5センチぐらいになり、頭は黄褐色、胴は淡いだいだい色で、黒色のコブが縦についています。なお、毛虫に触れるとかぶれますから注意してください。

防除は、DOVP、スミチオン乳剤などの1000~1500倍液を散布してください。

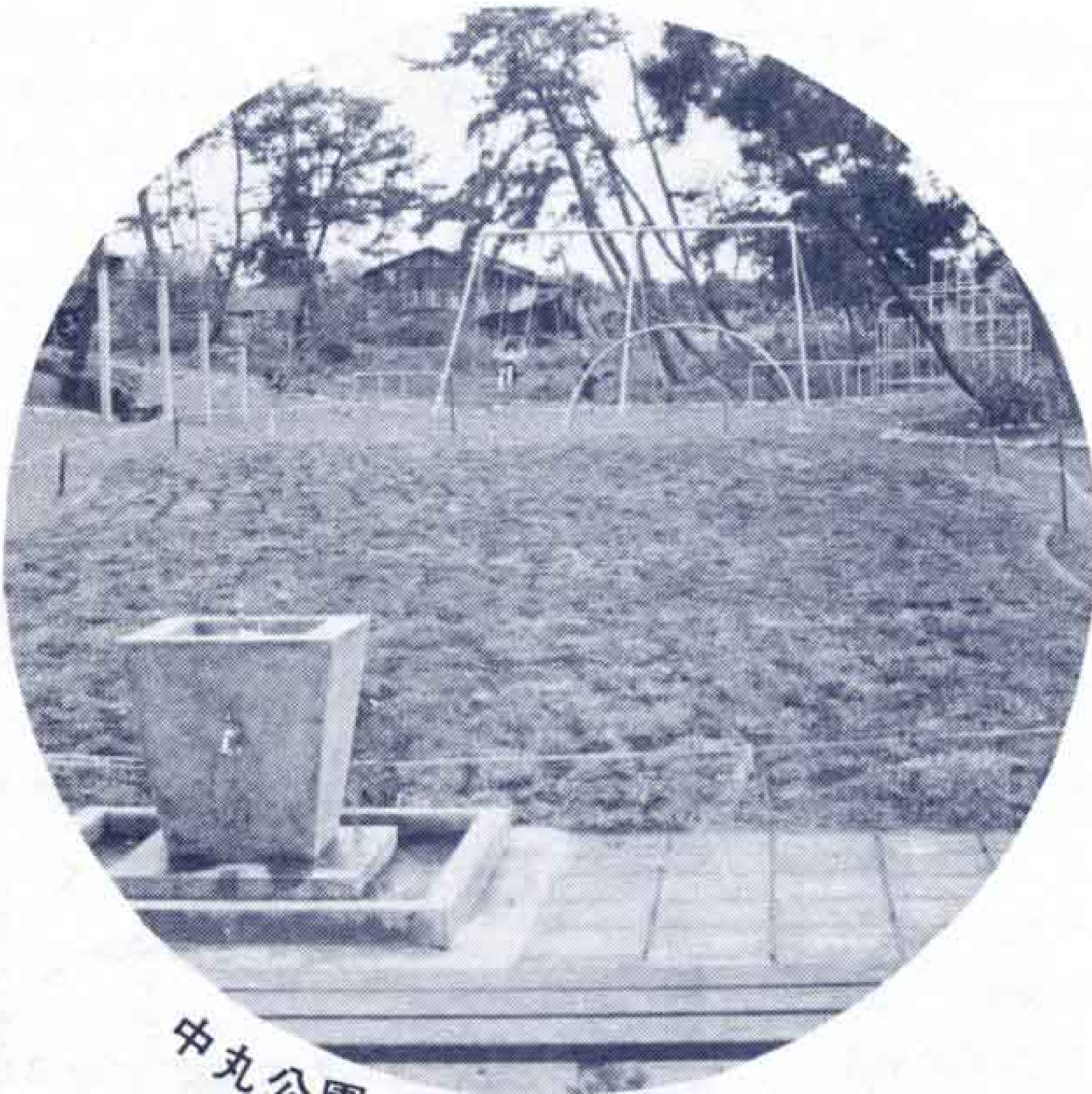


和田町公園

### 公園が新しく7カ所に

財務事務所跡地に建設していた住吉町公園、和田町交番西側の和田町公園など7公園がさきごろ完成しました。各公園には遊具や広場をつくり、子どもたちの遊び場を確保するとともに、まわりに花や木を植えて、都市緑化も進めています。公園はみなさんの施設ですから、遊具をこわしたり、花や木をいじめたりしないで大切にしてください。

なお、今年度は柳島公園、中島公園、原田児童公園、総合運動公園などを建設します。



中丸公園



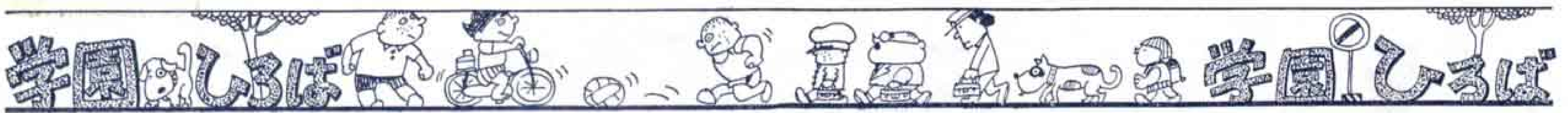
住吉町公園

### うまくつくかな…

#### 森島地区で体育祭

家族そろってスポーツで1日楽しくすごそうと、森島地区のみなさんは、さきごろ富士南中学校グラウンドで第7回体育祭を行ないました。幼児の三輪車競争、お母さんの血圧検査、おじいちゃんやおばあちゃんの長寿ボウリング大会など、楽しい競技がいっぱいでした。





### 富士山の雲と天気 ①

## ひとつガサは雨の前ぶれ

「富士山にカサ雲がかかると雨が降る。あるいは風が強くなる」と、昔から言い伝えられていますね。

柏原2丁目の森幸平さんは、雲や海岸の変化で天気の変わるようすを昭和29年から調べています。みんながまだ生まれる前からだねー

そこで、森さんが集めた資料の中から、富士山にかかるカサ雲によって、天気が変わるようすをお知らせします。みんなも富士山にカサ雲がかかったら、どんな天気になるか注意してみてください。

カサ雲といっても、いろんな形が

あるんだ。おわんをさかさにしてかぶせたようなものや、うず巻のようなものなど、20種類ぐらいに分けることができます。同じカサ雲でも見る場所によって形も変わる場合があります。また、カサ雲はたえず形が変わるので、始めから終わりまで同じ形にいることはめったにありませんが、この変化が天気に大きく関連しています。

1年間に富士山を見ることができるとは、約100日ぐらいです。このうち、カサ雲がかかるのは15回から20回程度で、あまり見ることはでき

ません。

一番多く見ることができるのは、ひとつガサです。



ひとつガサは、春と夏に多く出ますが、こんな時は、雨が降る前ぶれです。富士山にかかるカサ雲によって、天気を知ることはできますが、どのくらい雨がふるか、何日ぐらいつづくのかなどこまかなことはまだわかっていません。

## 5月10日から「愛鳥週間」

5月10日から1週間「愛鳥週間」ですね。愛鳥週間は昭和22年に渡り鳥を保護するため、5月10日を「バードデー」と決めたのがはじまりで、その後1日だけでなくこの日から1週間続けるようになりました。

市内で見ることができる鳥類は、ウグイス、ホトトギス、ヒ

バリなど約60種類以上です。海岸にはチドリやカモメ、沼地にはカモやバン、山麓ではウグイスやキジなどが多く見られます

なお、大淵中学校では、毎年全校生徒で丸火自然公園に巣箱をかけたり、クラブ活動で小鳥の研究を行なうなど学校ぐるみで小鳥を守っています。



【丸火自然公園で見られる小鳥たち】

## 1中の卒業生全員で壁面レリーフを制作

吉原第1中学校では、卒業生全員でつくった壁面レリーフ「青春の群象」の除幕式を4月20日に行ないました。

壁面レリーフは、今年3月卒業した540人が自分達でつくったものを長く残そうと、全員で考え制作しました。作品は横2730センチ、縦91センチの大きなもので、名前も青春の群象とつけ、新校舎の玄関に建てました。

